

授業計画（シラバス）

学校整理番号（ 108 ）

課目名	関係法規・制度				必修・選択必修・自由選択	必修
	授業実施時期		1学期	2学期	3学期	授業時間数
1年		○	○	—	授業単位	1単位
2年		—	—	○	法律により決められた時間・単位	30時間（1）
担当教員名	市東 幹夫				授業方法	講義
担当資格	大学、法律学科卒業					
到達目標	美容師学科試験の合格					
授業科目概要	1衛生行政 2美容師法 (1)美容師法の目的 (2)美容師に対する法的規制 (3)美容所に対する法的規制					
成績評価方法 筆記試験		1学期	2学期	3学期	合格基準	
	1年	中間・期末試験	中間・期末試験	学年末試験	100点満点だが60点以上で単位を修得する。	
	2年	中間・期末試験	中間・期末試験	卒業試験	60点以下の場合は追試試験を行う。	
時間	授業内容					
1	美容師になるために 関係法規全体の開設					
2	法の役割、法律と道徳の違い					
3,4	法制度の概要 法の形式 憲法、法律、命令、自治法規					
5	衛生法規の概要					
6	衛生行政の概要、保健所の役割					
7	中間試験					
8	美容師法の目的、用語の定義（美容・美容師・美容所）					
9	美容師になるまでの課程					
10	美容師養成施設、美容師試験について					
11	期末試験					
11	美容師免許と登録					
12	業務停止免許取消、再免許					
13	美容師の義務、管理美容師					
14	免許を受けてから変更があったときの手続き					
15	中間試験					
16	美容所の開設について					
17	美容所以外での業務					
18	美容所において講ずべき衛生措置					
19	美容師法に違反した場合の処分について					
20	関連法規 美容業の運営、衛生、消費者保護に関する法律					
21	期末試験					
22～27	学年末試験、2年1学期中間・期末試験、2学期中間・期末試験					
28～36	2年3学期に総復習					
37	卒業学科試験					

授業計画（シラバス）

課目名	衛生管理				必修・選択必修・自由選択	必修
	授業実施時期		1学期	2学期	3学期	授業時間数
1年		○	○	○	授業単位	3単位

	2年	○	○	○	法律により決められた時間・単位	90時間 (3)
担当教員名	岩本 真由美、	岡崎芳江			授業方法	講義
担当資格	獣医師	実務経験6年、衛生管理研修終了				
到達目標	美容師学科試験の合格					
授業科目概要	1公衆衛生概要		2感染症			
	3環境衛生		4衛生管理技術			
成績評価方法 筆記試験		1学期	2学期	3学期	合格基準	
	1年	中間・期末試験	中間・期末試験	学年末試験	100点満点だが60点以上で単位を修得する。	
	2年	中間・期末試験	中間・期末試験	卒業試験	60点以下の場合は追試試験を行う。	
時間	授業内容					
1～3	公衆衛生の意義と課題、発展と歴史					
4～6	美容師と公衆衛生、保健所と美容業					
7～8	母子、成人・高齢者、精神保健					
9～11	環境衛生の概要					
12～15	空気環境、衣服・住居の衛生					
16～17	上・下水道と廃棄物、衛生害虫とネズミ					
18～20	環境保全					
21～24	人と感染症					
25～27	病原微生物、感染症の予防					
28～30	美容と感染症					
31～35	主な感染症、					
36～40	具体的な対策の例					
41～45	消毒法とは、消毒の意義					
46～50	美容の業務と消毒との関連					
51～55	消毒法と適用上の注意					
56～60	理学的消毒、化学的消毒法					
61～65	優れた消毒法とその実施上の注意					
66～70	各種消毒薬					
71～75	美容所の消毒の実際					
76～80	美容所における衛生管理要領					
81～97	総復習					

授業計画 (シラバス)

課目名	保健				必修・選択必修・自由選択	必修
授業実施時期		1学期	2学期	3学期	授業時間数	101時間
	1年	○	○	○	授業単位	3単位
	2年	○	○	○	法律により決められた時間・単位	90時間 (3)
担当教員名	岩本 真由美、				授業方法	講義
担当資格	獣医師					
到達目標	美容師学科試験の合格					
	1. 人体の構造及び機能 2. 皮膚及び皮膚附属機関の構造及び機能					

授業科目概要	皮膚及び皮膚附属機関の構造及び機能				
	3 皮膚及び皮膚附属機関の保健衛生		4 皮膚及び皮膚附属器官の疾患		
成績評価方法 筆記試験		1学期	2学期	3学期	合格基準
	1年	中間・期末試験	中間・期末試験	学年末試験	100点満点だが60点以上で単位を修得する。
	2年	中間・期末試験	中間・期末試験	卒業試験	60点以下の場合は追試験を行う。
時間	授業内容				
1～3	人体各部の名称、頭部、顔部、頸部の体表解剖学、骨の種類と構造				
4～6	骨の連結、骨格系とそのはたらき、筋の種類とその特徴				
7～9	主な骨格筋とそのはたらき、表情筋と表情運動、美容の作業と筋疲労				
10～12	神経系の成り立ち、中枢神経とその働き、末梢神経とその働き				
13～15	視覚、聴覚、平衡感覚、味覚、臭覚、皮膚感覚				
16～18	血液のあらまし、血液循環の仕組み、血液の循環経路、心臓と血管の働き、				
19～21	リンパ管系の仕組みと働き、呼吸器系のあらまし、気道、肺の仕組みとガス交換				
22～24	呼吸運動、消化器系のあらまし、消化管の仕組み、消化管の働き				
25～27	消化と物質代謝、皮膚表面、皮膚の断面、表皮				
28～30	表紙と真皮の境、真皮、皮下組織、皮膚の部位差				
31～35	毛、脂腺、汗腺、爪				
36～40	皮膚の血管、皮膚のリンパ管、皮膚の神経				
41～45	対外保護作用、体温調節作用、知覚作用と皮膚反射、分泌排泄作用				
46～50	呼吸作用、吸収作用、貯蔵作用、免疫・解毒・排除作用				
51～55	再生作用、毛の働き、爪の働き、皮膚と全身状態				
56～60	皮膚と精神、皮膚と栄養、皮膚と嗜好品、皮膚と体内病変				
61～65	皮膚の水分と脂の状態、皮膚・付属器官とホルモン、皮膚の保護と手入れ、爪の保護と手入れ				
66～69	子どものおしゃれによる皮膚トラブル、皮膚の異常とその種類、皮膚疾患の原因				
70～74	皮膚疾患の原因、皮膚疾患の治療法、皮膚炎と湿疹・蕁麻疹・薬疹				
75～78	口唇の疾患、湿熱・寒冷による皮膚障害、角化異常による皮膚疾患、色素異常による皮膚疾患				
79～83	血管腫、脂腺母斑、下肢静脈瘤、分泌異常による皮膚疾患、化膿菌による皮膚疾患				
84～87	ウイルスによる皮膚疾患、真菌・衛生害虫による皮膚疾患				
88～91	感染症の皮膚疾患の予防、毛と爪の疾患、皮膚の腫瘍				
92～101	総復習				

授業計画（シラバス）

課目名	化粧品化学				必修・選択必修・自由選択	必修
授業実施時期		1学期	2学期	3学期	授業時間数	68時間
	1年	○	○	○	授業単位	2単位
	2年	○	○	○	法律により決められた時間・単位	60時間（2）
担当教員名	佐野 安志				授業方法	講義
担当資格	大学電気通信学部					
到達目標	美容師学科試験の合格					
授業科目概要	1化粧品概論 2化粧品用原料 3基礎化粧品 4メイク用化粧品 5頭皮・毛髪用化粧品					
	6芳香製品と特殊化粧品 7化粧品化学を理解するための基礎科学					
成績評価方法 筆記試験		1学期	2学期	3学期	合格基準	
	1年	中間・期末試験	中間・期末試験	学年末試験	100点満点だが60点以上で単位を修得する。	
	2年	中間・期末試験	中間・期末試験	卒業試験	60点以下の場合は追試験を行う。	
時間	授業内容					

1,2	化粧品の社会的意義と品質特性
3,4	化粧品の規制
5,6	化粧品の安定性と取り扱い上の注意
7,6	化粧品と安全性
8,9	化粧品の対象となる人体各部の性状
10,11	水性原料 水、エタノール
12,13	油性原料 油脂、ロウ類、炭化水素、その他の油性原料、
14,15	界面活性剤 基本的性質、種類、化粧品への応用
16,17	高分子化合物 種類と特性、化粧品への応用
18,19	色材 色材と化粧品、無機顔料、有機合成色素、光輝性顔料、天然色素
20,21	香料 香料と化粧品、種類、調合香料
22,23	その他の配合成分 原料の品質保持に用いられる配合成分、配合成分に与える機能、その他の特殊成分
24,25	ネイル、まつ毛エクステンション用材料 合成樹皮、接着剤、塗料
26,27	皮膚清浄用化粧品 皮膚の汚れと清浄作用、石けんの種類とその性質、その他の清浄剤
28,29	化粧水の種類と機能
30,31	クリーム・乳液の皮膚への作用、種類と機能、
32,33	その他の基礎化粧品 シェービング用化粧品、化粧液、打粉、パック剤
34,35	メイクアップ用化粧品の種類と剤形
36,37	ベースメイクアップ化粧品 おしろい、ファンデーション類
38,39	ポイントメイクアップ化粧品 紅類、アイメイクアップ化粧品、ネイル記述用化粧品類
40,41	シャンプー剤、ヘアリンス剤、ヘアトリートメント剤
42,43	スタイリング剤 機能、油性・液状スタイリング剤、高分子物質を基剤とするスタイリング剤
44,45	パーマ剤 原理、分類、第1剤・第2剤、使用上の注意
46,47	ヘアカラー製品 種類と染毛メカニズム、一時染毛剤、半永久染毛剤、永久染毛剤、使用上の注意
48,49	育毛剤 脱毛の原因、種類と機能、育毛・養毛剤の原料
50,51	芳香製品 香水、オーデコロン、その他の芳香製品、効用と使用上の注意
52,53	特殊化粧品 サンケア製品、美白用化粧品、制汗・防臭剤、ニキビ用化粧品
54,55	物質の構成、構造、溶解とコロイド、イオンと水素イオン指数
56,57	物質の変化と化学反応、酸化・還元反応、タンパク質
58~68	総復習

授業計画（シラバス）

課目名	文化論			必修・選択必修・自由選択	必修
	1学期	2学期	3学期	学則の授業時間数	63時間
授業実施時期	1年	○	○	授業単位	2単位
	2年	○	○	法律により決められた時間・単位	60時間（2）
担当教員名	池田 聡子		小山 智子	授業方法	講義
担当資格	美術大学卒、高校美術教諭免許	実務経験・文化論研修修了者			
到達目標	美容師学科試験の合格				
授業科目概要	1.総論 2.日本の理容業・美容業の歴史 3.ファッション文化史 日本編 4.ファッション文化史 西洋編 5.礼装の種類				
成績評価方法 筆記試験	1学期	2学期	3学期	合格基準	
	1年	中間・期末試験	中間・期末試験	学年末試験	100点満点だが60点以上で単位を修得する。
	2年	中間・期末試験	中間・期末試験	卒業試験	60点以下の場合は追試試験を行う。
時間	授業内容				
1,2	総論				
3,4	理容業・美容業の発生				
5,6	江戸時代の理容業・美容業				

7,6	近代の理容業・美容業
8,9	現代の理容業・美容業
10,11	ファッション文化史 日本編 縄文・弥生・古墳時代
12,13	古代（飛鳥・奈良・平安時代）
14,15	中世（平安松・鎌倉・室町・戦国時代）
16,17	近世Ⅰ（戦国時代後期・安土桃山時代）
18,19	近世Ⅱ（江戸時代）
20,21	近代（明治・大正・昭和20年まで）
22,23	現代Ⅰ（1945年～1950年まで）
24,25	現代Ⅱ（1960年代～1970年代）
26,27,28	現代Ⅲ（1980年代～1990年代）
29,30,31	現代Ⅳ（2000年代以降）
32,33	ファッション文化史 西洋編 古代エジプト、古代ギリシャ・ローマ
34,35	古代ゲルマン、中世ヨーロッパ
36,37	近世Ⅰ（16世紀、17世紀）
38,39	近世Ⅱ（18世紀～19世紀初め）
40,41	近代Ⅰ（19世紀）、現代Ⅰ（1910年代～1920年代）
42,43,44	現代Ⅱ（1930年代～1940年代前半）
45,46,47	現代Ⅲ（1940年代～1950年代）
48,49,50	現代Ⅳ（1960年代～1970年代）
51,52,53	現代Ⅴ（1980年代～1990年代）
54,55	現代Ⅵ（2000年代～）
56,57	和装・洋装の礼装
58～63	総復習

授業計画（シラバス）

課目名	運営管理			必修・選択必修・自由選択	必修
	1学期	2学期	3学期	授業時間数	36時間
授業実施時期	1年	○	—	授業単位	1単位
	2年	—	○	法律により決められた時間・単位	30時間（1）
担当教員名	小山 智子			授業方法	講義
担当資格	実務経験・運営管理研修修了者				
到達目標	美容師学科試験の合格				
授業科目概要	1.経営とは・経営者とは 2.理容業・美容業の経営について 3.資金の管理 4.人という資源 5.健康・安全な職場環境の実現 6.従業員としての視点から 7.サービス・デザイン 8.マーケティング 9.サービスにおける人の役割				
成績評価方法 筆記試験	1学期	2学期	3学期	合格基準	
	1年	中間・期末試験		100点満点だが60点以上で単位を修得する。	
	2年	中間・期末試験	卒業試験	60点以下の場合には追試試験を行う。	
時間	授業内容				
1	1.経営とは・経営者とは 経営が必要とされる理由				
2	2.経営が難しい理由 経営とは何か				
3	3.経営資源と経営計画 経営戦略 経営戦略が指すもの				
4	4.美容業の経営について 業界の概要 競争の変化 サービスとしての美容				
5	5.美容業の顧客について 3.資金の管理 資金管理の重要性 収支と損益				
6	6.会計の考え方 コストを管理する 税金について				
7	7.4.人という資源とは ヒトの能力を高める ヒトをやる気にさせるために				
8	8.給与 待遇・福利厚生 労働者の権利				

9	5.健康・安全な職場環境の実現 健康管理の基礎 美容の仕事と健康 美容業の特徴的な健康課題
10	美容の作業環境に関する健康問題 6.従業員としての視点から 社会人としての責任・従業員としての
11,12	社会保険（国民年金、厚生年金、健康保険、国民健康保険）
13,14	社会保険（介護保険、雇用保険、労働者災害補償保険）
15	7.サービス・デザイン 顧客が求める価値 価値の実態 顧客満足のためのシステム
16	最も重要な価値：人 価値の多様性 顧客が求めるもの サービスの範囲
17,18	8.マーケティング 美容業のマーケティング マーケティングミックス 短期的・長期的な要因
19,2	マーケティングミックス 短期的・長期的な要因 サービスのシステム化
21	9.サービスにおける人の役割 接客についての理解 よい接客のために
22	接客の実践① ②
23	接客の実践③ ④
24	接客の実践⑤ ⑥
25	接客におけるトラブル対応 接客で発生が予想される問題
26	問題を深刻化させないための対策・対処
27～36	総復習

授業計画（シラバス）

課目名	美容技術理論1（1年）				必修・選択必修・自由選択	必修
授業実施時期		1学期	2学期	3学期	授業時間数	62時間
	1年	○	○	○	授業単位	2単位
	2年	—	—	—	法律により決められた時間・単位	150時間（5）
担当教員名	渡邊 智之 向井光子 岡崎芳江 野村みさ江				授業方法	講義
担当資格	実務経験・美容理論・実習研修修了者					
到達目標	美容技術の理論的な理解 美容師学科試験の合格					
授業科目概要	1.美容用具 2.シャンプーング 3.ヘアデザイン 4.ヘアカットティング 5.パーマメント ウェーブ 6ヘアセッティング 7ヘアカラーリング					
成績評価方法 筆記試験		1学期	2学期	3学期	合格基準	
	1年	中間・期末試験	中間・期末試験	学年末試験	100点満点だが60点以上で単位を修得する。	
	2年				60点以下の場合は追試試験を行う。	
時間	授業内容					
1,2	美容技術理論を学ぶにあたって 美容技術における用具					
3,4	コーム ブラシ シザーズ					
5,6	レザー ピン類、ヘアクリップ					
7,6	ロッド ローラー ヘアアイロン					
8,9	ヘアスチーマ 遠赤外線機					
10,11	シャンプーング総論 サイドシャンプー					
12,13	バックシャンプー リンス・コンディショナー・トリートメント					
14,15	スキャulptトリートメント ヘッドスパ					
16,17	3.ヘアデザイン 美容とデザイン					
18,19	4.ヘアカットティングとは					
20,21	シザーズとレザーの扱い方					
22,23	美容刃物					

24,25	ヘアカッティングの正しい姿勢
26,27,28	ブロッキング ヘアカッティングの基礎理論
29,30	ベーシックなカット技法
31,32	シザーズによりカット技法
33,34	レザーによるカット技法
35,36,37	5.パーマネントウェーブ歴史と現在 パーマの理論
38,39	パーマ剤の分類
40,41,42	パーマ剤に関する注意事項 パーマネントウェーブ技術
43,44	ワインディングのバリエーション 縮毛矯正
45,46	6ヘアセッティングとは ヘアパーティング ヘアシェーピング
47,48	ヘアカーリング ヘアウェーピング ローラーカーリング
49,50	ブロードライ アイロンセッティング バックコーミング
51,52,53	アップスタイル ウィッグとヘアピース 7ヘアカラーリング概論
54,55,56	ヘアカラーの種類 ヘアカラーのタイプ別特徴 染毛のメカニズム
57,58	色の基本 毛髪のレベルとアンダートーン パッチテスト
59,60	専門剤使用時の注意事項 ヘアカラーリングの道具 酸化染毛剤
61,62	酸性染毛料の技術手順 ヘアブリーチ

授業計画（シラバス）

課目名	美容技術理論2（2年）				必修・選択必修・自由選択	必修
授業実施時期		1学期	2学期	3学期	授業時間数	94時間
	1年	—	—	—	授業単位	3単位
	2年	○	○	○	法律により決められた時間・単位	90時間（3）
担当教員名	山口千佳子 飯田佐奈江 古関恵子 小屋松寛暁				授業方法	講義
担当資格	実務経験・美容理論・実習研修修了者					
到達目標	美容技術の理論的な理解 美容師学科試験の合格					
授業科目概要	8.エステティック 9.ネイル技術 10.メイクアップ 11.日本髪 12.着付けの理論と技術					
成績評価方法 筆記試験		1学期	2学期	3学期	合格基準	
	1年	—	—	—	100点満点だが60点以上で単位を修得する。	
	2年	中間・期末試験	中間・期末試験	卒業試験	60点以下の場合は追試験を行う。	
時間	授業内容					
1～3	エステティック概論 皮膚の整理と構造					
4～6	カウンセリング 美容におけるマッサージ理論					
7～9	フェイシャルケア技術 フェイシャル及びデコルテマッサージ					
10～12	フェイシャルパック ボディケア技術 ボディケアマッサージ					
13～16	ネイル技術概論 ネイル技術の種類					
17～20	爪の構造と機能 爪のカット形状					
21～23	ネイル技術と公衆衛生					
24～26	カウンセリング ネイルケア					
27～29	アーティフィシャルネイル 手と足のマッサージ					
30～33	メイクアップ概論 顔の形態学的な観察					
34～37	メイクアップと色彩 皮膚の生理と構造					
38～40	メイクアップの道具 スキンケア					
41～43	ベースメイクアップ アイメイクアップ					
44～46	アイブロウメイクアップ リップメイクアップ ブラッシュオンメイクアップ					
47～50	まつ毛エクステンション					

51~52	日本髪由来	日本髪各部の名称
53~54	日本髪の種類と特徴	日本髪の調和
55~56	日本髪装飾品	日本髪結髪道具
57~58	日本髪結髪技術	日本髪の手入れ かつら
59~61	着付けの目的	礼装
62~64	着物と季節	着物のいろいろ
65~67	帯 小物	着物各部の名称
68~70	着物のたたみ方	着付けの一般的要領
71~73	留袖着付け技術	振袖着付け技術
74~75	帯締め、帯揚げの結び方	男子礼装羽織、袴着付け技術
76~78	羽織のひもの結び方	女子袴着付けの際の注意事項
79~80	婚礼着付けの際の注意事項	和装花嫁 洋装花嫁
81~92	総復習	

授業計画（シラバス）

課目名	美容実習 1年			必修・選択必修・自由選択	必修	
		1学期	2学期	3学期	授業時間数	662時間
授業実施時期	1年	○	○	○	授業単位	22単位
	2年	—	—	—	法律により決められた時間・単位	900時間（30）
担当教員名	渡邊 智之 向井光子 岡崎芳江 野村みさ江				授業方法	実習
担当資格	実務経験・日本理容美容教育センター美容理論・実習研修修了者					
到達目標	美容技術の修得、美容師実技試験課題の修得					
授業科目概要	1.スキャルトリートメント 2.シャンプー 3.ワインディング 4.ネイル 5.エステ 6.メイク 7.ワインディングコンテスト 8.アイラッシュ 9.編み込み 10.着付け 11.学校祭練習 12.夜会巻き 13.カット&ブロー 14.セムレイ ヤーカット 15.カラーリング 16.日本髪 17.フィンガーウェーブ 18.フ					
成績評価方法 実技試験		1学期	2学期	3学期	合格基準	
	1年	科目の最後に複数教員により採点			100点満点だが60点以上で単位を修得する。未	
2年				完成また、60点以下の場合は追試試験を行		
時間	授業内容					
1~3	スキャルトリートメント（ブラッシング・マッサージ）					
4~19	シャンプー（サイドシャンプー）最後に試験 5日間					
20~22	ワインディング ブロッキング 試験はなし 1日間					
23~49	ワインディング（オールパーパス）基本巻き 試験はなし 8日間					
50~」65	ネイル（ネイルケア、カラーリング）最後に試験 5日間					
166~178	エステ（フェイシャルマッサージ）試験はなし 4日間					
179~203	メイク（相モデルによるノーマルメイク）最後に試験 8日間					
204~243	ワインディング 30分 最後に試験 校内コンテスト 13日間					
244~259	アイラッシュ（まつ毛エクステンション）試験はなし 5日間					
260~266	編み込み・まとめ髪 試験はなし 2日間					
267~285	学校祭準備（ヘアショー準備）6日間 夏休み前					
286~301	ワインディング 5日間 試験はなし					
302~326	着付け（女子は浴衣と振袖着付・男子は浴衣と羽織袴着付）最後に試験 8日間					
327~339	夜会巻き（アップスタイル）4日間 試験はなし					
340~409	学校祭（ヘアショー）16日間					
410~434	ワンレングスカット&ブロー 8日間 最後にワンレングスコンテスト					
435~447	各種カット（セムレイヤー、レザーカットなど）4日間					
448~457	カラーリング（ブリーチ、ヘアマニキュア、カラーリング）3日間 試験はなし					

授業計画（シラバス）

課目名	毛髪知識とサロン				必修・選択必修・自由選択
授業実施時期		1学期	2学期	3学期	授業時間数
	1年	○	○	○	授業単位
	2年	○	○	○	法律により決められた時間・単位
担当教員名	小柴 広				授業方法
担当資格	美容室実務経験、美容メーカーにおいてサロンオーナーやスタッフの教育を担当				
到達目標	美容技術における毛髪の知識 実際の美容室現場についての理解				
授業科目概要	1.毛髪と頭皮について 2.シャンプー剤について 3.トリートメント剤について ラーについて 5.パーマ剤について 6.美容室の現状（成功する美容師とは）				
成績評価方法 筆記試験		1学期	2学期	3学期	合格基準
	1年	期末試験	期末試験	学年末試験	100点満点だが60点以上で単位を る。60点以下の場合は追試験を
	2年	期末試験	期末試験	卒業試験	
時間	授業内容				
1～3	毛髪知識の必要性 毛髪と頭皮に関する初歩知識				
4～5	毛髪の構造 日本人と外国人の毛髪/色素				
6～7	ヘアサイクル 毛髪の損傷				
8	毛髪診断 試験				
9～12	抜け毛と脱毛の原因 頭皮のトラブル 試験				
13,14	シャンプー剤の役割と成分 シャンプーの効果				
15～17	トリートメント剤について役割と成分 リンス剤との違い				
18～20	パーマ薬剤の知識 使用方法 基礎技術 試験				
21～25	ヘアカラー剤と使用方法 基礎知識 基礎技術				
25～30	ヘアスタイルのジャンル アドバイス 試験				
31～33	美容業の現状 サロンの仕事				
34～35	ヘアケアマスター				
36～38	ヘアカラーマスター 試験				
39～44	パーママスター				
45～50	ストレートパーマ				
51～53	アシスタントの仕事について 目標 役割				
54～55	美容師の目標				
56～59	毛髪関連総まとめ				
60	試験				

43～45	ヘアカラー解説　メイクとのバランスを考え、ヘアカラーを作成
46～48	デザイン画のトレースを2枚完成させる　評価
49～50	デザイン画の下書きを作成
51～54	メイクをデザイン、色味のバランスやキャラクターの設定を表現
55～57	全体の雰囲気を見直し　メイクとヘアスタイル・ヘアカラーのバランスをとる
58～60	課題制作　評価

授業計画（シラバス）

課目名	接客マナー				必修・選択必修・自由選択
授業実施時期		1学期	2学期	3学期	授業時間数
	1年	○	○	○	授業単位
	2年	○	○	○	法律により決められた時間・単位
担当教員名	田中 恵子				授業方法
担当資格	元キャビンアテンダント、トータルイメージコーディネーター、短期大学講師				
到達目標	美容師学科試験の合格				
授業科目概要	1 美容室における接客について学ぶ　　2 接客マナー検定の取得 など				
成績評価方法 筆記試験		1学期	2学期	3学期	合格基準
	1年	期末試験	期末試験	学年末試験	100点満点だが60点以上で単位を る。60点以下の場合は追試試験を
	2年	期末試験	期末試験	卒業試験	
時間	授業内容				
1	受講の心構え　お辞儀の練習				
2	サービススタッフの資質（笑顔と挨拶）				
3	サービススタッフの資質（おしゃれと身だしなみの違い）				
4～5	サービスの意義（お客様対応の心構え）				
6～7	さまざまな商業用語・経済用語				
8	接遇動作				
9	期末試験				
10	夏休み宿題　確認テスト				
11	慶弔対応（水引きと上書き）				
12～13	敬語と接客用語				
14	サービス業でよく使われる用語				
15～18	サービス接遇検定試験対策				
19	TDL 顧客感動の秘訣				
20	聞くことの大切さ、定石と招待状の返信				
21	期末試験				
22～26	電話対応のマナーと特性				

27～30	談話対応 実技試験
31	目標設定の大切さ（目標達成テンプレート）
32～37	就職対策サロン見学、電話対応、履歴書の書き方、面接のポイント
38～39	贈答の種類と基本マナー、接客の基本姿勢とサービスとは
40～43	場面に応じた接客用語、クレームへの対応
44～46	自画像と他画像、ジョハリの窓
47～50	自分を知る 心の中の5人の私 心の機能（自分の強みと弱み）
51～53	仕事の流れ（指示の受け方、報連相の仕方）
54～56	ビジネスにおけるメールマナー セールトークの基本 手紙のマナー
57～60	電話対応 実技試験

授業計画（シラバス）

課目名	パーソナルカラー				必修・選択必修・自由選択
授業実施時期		1学期	2学期	3学期	授業時間数
	1年	○	○	○	授業単位
	2年	—	—	—	法律により決められた時間・単位
担当教員名	池田 聡子				授業方法
担当資格	大学の卒業者で美術の学位を修得し、高等学校の美術の教諭の免許状を受けている				
到達目標	パーソナルカラー検定修得 色に対する理解				
授業科目概要	1.パーソナルカラーとは 2.色彩理論 色はなぜ見えるのか 3.色相環 色の三属性 5.カラーチャートの作成				
成績評価方法 筆記試験		1学期	2学期	3学期	合格基準
	1年	課題提出	課題提出	課題提出	100点満点だが60点以上で単位を る。60点以下の場合は追試験を
	2年				
時間	授業内容				
1	パーソナルカラーの説明				
2	パーソナルカラー診断、理論				
3	色彩理論 色はなぜ見えるのか				
4	太陽光とは（ニュートン） 混色、色相環制作				
5	色相環				
6	色の三属性 補色				
7～10	トーンの説明 トーンの色制作 提出				
11～12	パーソナルカラー理論 カードを使いベースカラーチェック キャラクターチェック				
13～14	パーソナルカラー、フォーシーズンカラー理論 フォーシーズンカラーチャート作成				
15～18	パーソナルカラー検定指導				
19～20	カラーチャート、ベースカラー、メイク、ヘアカラーチャート作成				
21～24	パーソナルカラー、メイク、ヘアカラーチャート、フォーシーズンカラー色作成				
25～26	トータルアドバンスシート作成				

27	パーソナルカラー理論講義
28～31	課題提出 評価

授業計画（シラバス）

課目名	美容師国家試験対策授業				必修・選択必修・自由選択
授業実施時期		1学期	2学期	3学期	授業時間数
	1年	—	—	—	授業単位
	2年	—	—	○	法律により決められた時間・単位
担当教員名	渡邊 智之 古関恵子 向井光子 岡崎芳江				授業方法
担当資格	実務経験・美容理論・実習研修修了者				
到達目標	美容師試験の合格				
授業科目概要	1. 美容師実技試験第1課題（ヘアカット） 2. 美容師実技試験第2課題（オールウェンディング） 3. 衛生上の取り扱い試験 4. 美容師学科試験問題集での勉強				
成績評価方法 筆記試験		1学期	2学期	3学期	合格基準
	1年				100点満点だが60点以上で単位を る。60点以下の場合は追試試験を
	2年			卒業試験	
時間	授業内容				
1～18	美容師実技試験第1課題 練習				
19～36	美容師実技試験第2課題 練習				
37～92	美容師実技試験第1課題・第2課題 練習				
93～104	卒業実技試験				
	美容師実技試験				
105～168	美容師筆記試験 勉強				
169～180	卒業学科試験				
	美容師学科試験				

授業計画（シラバス）

課目名	実務実習	必修・選択必修・自由選択
-----	------	--------------

授業実施時期		1学期	2学期	3学期	授業時間数
	1年	○	—	○	授業単位
	2年	○	—	—	法律により決められた時間・単位
担当教員名	美容室オーナーないしはスタッフ				授業方法
担当資格	各美容室の管理美容師資格がある者				
到達目標	実際の美容室を美容室側に立って体験する				
授業科目概要	県内の美容室に全員が行き、実際の美容室を体験する				
成績評価方法 筆記試験		1学期	2学期	3学期	合格基準
	1年	中間・期末試験	中間・期末試験	学年末試験	100点満点だが60点以上で単位を る。60点以下の場合は追試試験を
	2年	中間・期末試験	中間・期末試験	卒業試験	
時間	授業内容				
1～30	1年次夏期に5日間千葉県内の美容室（学校側が美容室を指定）を体験する 1日6時間				
31～66	1年次春期に5日間千葉県内の美容室（学校側が美容室を指定）を体験する 1日7時間				
67～122	2年次夏期に7日間就職内定先の美容室ないしは学校側の指定する美容室にて1日8時間				

選択必修
180時間
6単位
実習 勉強
ープ・ワイ
修得す を行う。

選択必修

122時間

4単位

単位

講義

--

--

--

修得す と行う。

--

--

--

実習する
